

一般社団法人島人Lab 活動内容資料



私たちの活動目的

① 人間力の高い次世代育成

コミュニケーション能力を向上させ、できないをできるに変える人間力を身につける、「**自らを知る**」舞台づくりによる感動体験を通し、自ら考え行動する次世代を育てる。

② 郷土愛から自分の根っこを持つ

「**視点は郷土**」演じる者、観る者が生まれ育った歴史、文化、風土を学び自らの人生を考える視点の根っこに「郷土」を置く。

③ 感動産業の創出

「**地域に生きる**」新しい文化創造により、新たな産業が生まれ、新たな雇用と生き方（選択肢）を生む。

④ 文化による社会課題の解決

障がいの有無や家庭環境などによって隔てられない「**インクルーシブな舞台づくり**」によってさまざまな環境にある子どもたちに成長の機会を提供する。



主な活動内容

○現代版組踊の活用を軸とし、 沖縄を中心に子どもたちの成長機会をサポート

①現代版組踊「鬼鷲～琉球王尚巴志伝」の公演開催



②県内の児童養護施設や特別支援学校子どもたちなど、 多様な環境にある子どもたちへワークショップ開催や舞台出演の機会を提供



③鹿児島県の現代版組踊「鬼武蔵」、福島県の現代版組踊「息吹」「獅」とも 互いの舞台に出演しあうなど、沖縄と全国の子どもたちが共に成長する場を提供

現代版組踊「鬼鷲～琉球王尚巴志伝」

琉球三山統一を成し遂げた「尚巴志王」物語



沖縄に伝えられる、古き謡の本「おもろそうし」の中で、天の使いである「鬼鷲（うにわし）」とまで呼ばれた「尚巴志王」。琉球三山統一という偉業を成し遂げ、現在の沖縄のシンボルでもある首里城の築城や、海外との交易を積極的に行うなど、世界に鳴り響く「琉球王国」の基盤を作りました。しかし、本来ならば偉大なる王として宣揚されなければならないはずの彼の偉業が、現在の沖縄であまり語られていないのは何故なのか…。この舞台では、これまで闇に閉ざされてきた、古き琉球の歴史を紐解きながら、吹きぬけるアジアの風を感じさせるような躍動感溢れる演技や舞を展開します。琉球王朝建設の父「尚巴志王」の生き様をベースに、彼のその情熱と志を学び演じることで、大きな未来へのビジョンを描き、沖縄の新たな感動産業を創出します。

鬼鷲公演実績

2015年3月7日

西原町さわふじ未来ホール公演 (観客動員数 967人)

2021年4月4日

沖縄市民会館公演 (観客動員数 659人)

2016年2月11日

宜野湾市民会館公演 (観客動員数 1686人)

2022年2月5日

浦添市てだこホール公演 (観客動員数 590人)

2016年8月28日

国立劇場おきなわ公演 (観客動員数 951人)

2023年2月12日

沖縄市民会館公演 (観客動員数 777人)

2017年3月19日

宜野湾市民会館公演 (観客動員数 1451人)

2024年2月17日

那覇市民芸術劇場なはーと公演 (観客動員数 1388人)

2018年2月11日-12日

北中城村中央公民館公演 (観客動員数 1297人)

2019年2月11日

沖縄市民会館公演 (観客動員数 2022人)

2020年2月8日-9日

南城市シュガーホール公演 (観客動員数 1747人)



2015年より毎年公演開催

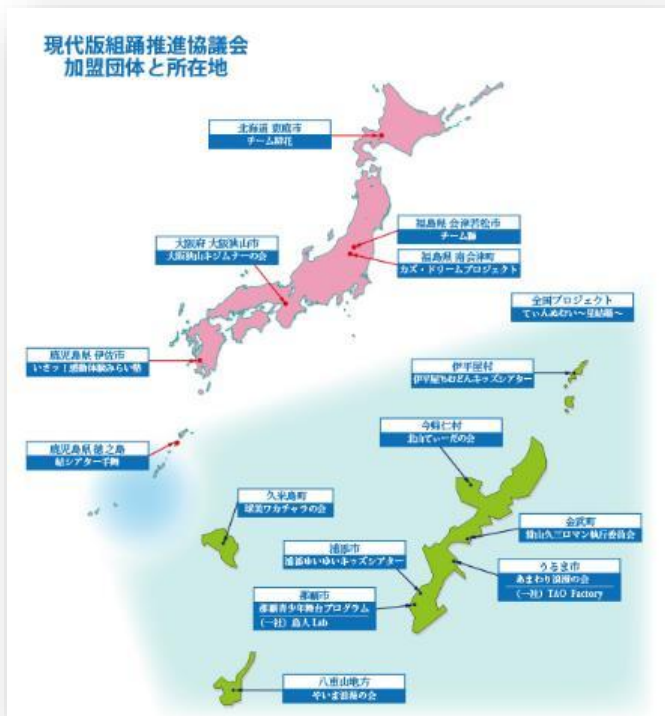
のべ観客動員数 13,535人

現代版組踊とは

沖縄に伝わる琉球古典
芸能「組踊」の手法を、南島
詩人・平田大一が**地域に眠る**
伝承・伝説にアレンジを加え次
世代の子どもたちが中心となっ
て**演じる感動の舞台**です。

様式美を忠実に継承する
「組踊」の歴史に敬意を払い
ながらも、郷土芸能の未来を
拓く革新的なジャンルとして
国内はもちろん海外からも高
い評価を得ています。

今では沖縄県内外に活動が
広がり、2013年に推進協議
会を設立。現在、沖縄県内を
中心に鹿児島や福島、北海
道などで計17団体が加盟し
活動中。



島人Labとの連携プロジェクト



福島県奥会津地域
現代版組踊「息吹〜南山義民喜四郎伝」



福島県会津若松市
現代版組踊「獅Leon〜會津宰相氏郷」



鹿児島県伊佐市
現代版組踊「鬼武蔵-TADAMOTO忠元」

地域や社会と協働する感動体験を目指して

この活動は、現代版組踊の手法を活用しながら、自分たちの住む郷土の歴史を知り、自分の生まれた地域、自分の生活する地域に誇りが持てるよう、次世代を育む「**人財育成プロジェクト**」であり、また多様な環境にある子どもたちにも分け隔てのない「**成長の機会**」を提供するものです。

地域の宝である子どもたちと社会を繋ぐ活動として
単なる舞台発表ではなく人財育成を目的としたプロジェクト

深刻さを増す沖縄県の子どもの貧困問題や、また障がいの有無などさまざまな境遇・環境にある子どもたちの存在に対して、舞台を活用したこの活動には、多くの期待が寄せられ、その現状を打破するパワーが見込まれています。親や周りの大人たちが大きな「家族」となってその子の成長を願い、家庭や地域をも超えて、協働で舞台を創りあげていく道のは、子どもと大人の感動体験の共有による「**地域コミュニティの創造と再生**」にも繋がるものであり、現代社会の課題解決に対して今後ますます必要な活動であると考えます。

(一社) 島人Lab 主な活動実績

活動時期	内容
2014年6月3日	一般社団法人 島人Lab 設立
2014年6月～12月	南島詩人アカデミー第1期開講（南島詩人・平田大一氏を講師とした一般向けの講座）
2015年3月～現在	現代版組踊「鬼鷲～琉球王尚巴志伝」制作、上演。以来、現在まで毎年公演を継続
2015年4月～7月	南島詩人アカデミー第2期開講（南島詩人・平田大一氏を講師とした一般向けの講座）
2015年7月	ハワイにて新作舞台「Drums of Hope」制作、上演（ハワイ沖縄連合会との共催）
2015年12月および2016年5月	沖縄偉人劇「屋良朝苗物語」制作、上演
2019年4月～6月	南島詩人アカデミー第3期開講（南島詩人・平田大一氏を講師とした一般向けの講座）
2020年4月～現在	沖縄県 子ども未来応援助成事業（2020年度・2021年度）でのワークショップ開催、多様な環境にある子どもたちへの舞台出演機会の創出
2020年10月	DVD&特別冊子「南人夢想舞台」制作
2021年9月～12月	沖縄本土復帰50周年開幕／新時代沖縄芸能エンターテインメント「レキオス！～ぼくたちの大航海～」全国公演制作。四国・九州・関東・沖縄にて全13回公演実施
2022年11月	国民文化祭（沖縄県開催）閉会式の制作補助
2023年12月～2024年2月	「沖縄ちゃんぶる～LIVE SHOW」全12回公演の制作、上演（株式会社沖縄コングレとの共同制作）
2024年3月	「南島詩人ひとり舞台」～平田大一かっちゃん城に舞う～ 制作補助
2024年9月	「沖縄ちゃんぶる～LIVE SHOW in 京都」制作（株式会社沖縄コングレとの共同制作）
2025年1月～現在	ライブステージ 勝連おもろそうし「城（ぐすく）の祭り」制作